

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/02/13号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

需給引き締め見通しで一時80ドル回復

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル水準まで切り返す展開になった。需要不安の蒸し返しで2月6日には72.25ドルまで値下がりしていたが、その後は一気に一時80ドル台を回復する堅調地合になった。需給引き締めに対する信頼感が再び強くなっていることが、押し目買いを誘っている。また、ロシアのノバク副首相が3月に日量50万バレルの減産を行う方針を示したことも、週末に向けて原油相場を更に押し上げた。

国際エネルギー機関 (IEA) のビロル事務局長は、ゼロコロナ政策を終了させた中国の需要が、ジェット燃料を中心に急激回復していると報告した。このため、石油輸出国機構 (OPEC) プラスが政策調整 (=増産) を迫られるとの厳しい需給見通しを示している。また、サウジアラビア国営石油会社サウジアラムコは、3月のアジア向け公式販売価格 (OSP) を0.20ドル引き上げた。これもアジア地区の需要が回復していることを象徴する動きと評価されている。

米エネルギー情報局 (EIA) の米石油在庫 (2月3日時点) は、原油が前週比242万バレル増、ガソリンが501万バレル増、石油精製品が293万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需要拡大期待と供給不安で底固い、IEA月報に注目

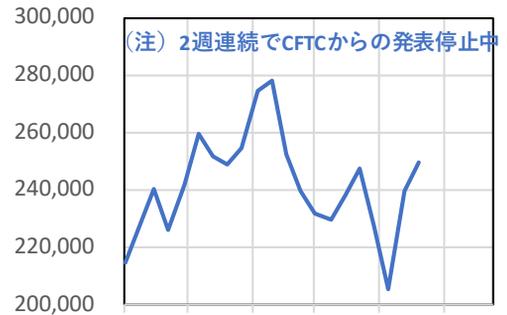
70ドル台前半で底固さを再確認し、慎重にコアレンジ切り上げを打診する展開が続く見通し。需要環境の評価が定まっていないことで乱高下しつつもボックス相場を抜け出せていないが、需要環境に対して改めて強気の見通しが強まる一方、ロシア産の供給不安が高まる中、80ドル台前半が打診されよう。1月23日の直近高値82.64ドル突破の有無が問われる。

2月14日に石油輸出国機構（OPEC）、15日に国際エネルギー機関（IEA）がそれぞれ最新の月報を公表する。ここでゼロコロナ政策終了後の中国の需要環境などについて強気の見通しが示されると、買い安心感が強まろう。ただ、インフレ対応で各国中央銀行の利上げスタンスが強化されつつあるため、14日の1月米消費者物価指数が強めの数値になると、ドル高・株安・需要不安から下振れするリスクに注意が必要。

一方、ロシア産の供給環境が不安定化している。2月5日に西側諸国がロシア産石油製品に対する上限価格を設定したが、その対抗措置を名目にロシアは3月に日量50万バレルの減産に踏み切る。ロシア産石油供給の5%に相当する規模になる。石油輸出国機構（OPEC）プラスの生産協定とは別枠での対応になる。3月以降も減産を続けるのかなど不透明感もあるが、少なくとも3月の国際原油需給がタイト化し易くなっていることはポジティブ。

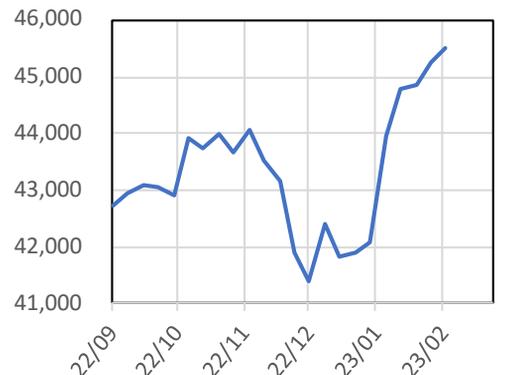
米原油在庫は7週連続で増加している。製油所の原油処理量は依然として伸び悩む一方、生産と輸入は高水準を維持している。更に在庫積み増しが促されると、調整リスクが高まり易くなる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

